

手足口病に関する注意喚起

国立感染症研究所の報告によると、昨今、手足口病が全国的に広がっており、大分県では本格的な流行に入ったことが報告されました。

手足口病は、口腔粘膜および手、足などに水疱性の発疹が出現する急性のウイルス感染症で、乳幼児を中心に主に夏に流行します。成人でも罹患することがあり、むしろ症状が重いことが特徴です。発熱、全身倦怠感、関節痛などの症状が出ることもあり、発疹が出現する前は、インフルエンザと間違えられることもあります。発疹は米粒大で、足裏に発疹が出現すると、歩けないほど痛いこともあるようです。

感染経路としては、飛沫、接触、糞口感染があります。罹患した場合は排泄物の処理に十分注意し、外出する際にはマスクを常用することを心がけてください。予防対策として、十分な手洗いを励行しましょう。

手足口病が疑われる症状が出た場合は、必ず医療機関を受診してください。手足口病と診断された場合、またはその疑いとなった場合は自宅待機とし、保健管理センターに連絡の上、指示を仰いでください。